



東林山 法雲寺

〒667-1311兵庫県美方郡村岡町村岡2365  
 TEL：0796-98-1151 98-1161 FAX：0796-98-1168



# 法雲寺報

<http://www.houun.net> Eメール：info@houun.net

## お仏壇・お位牌について…（位牌が増えてしまったら）

肌寒かったお盆も過ぎ、この時期になってやっと真夏の暑さがやって来ました。お彼岸までには落ち着くのでしょうか？

お彼岸を控えてお墓やお仏壇の整理を考えられているお宅も多いかと思えます。今回はお位牌やお仏壇のことについて少し考えて見たいと思えます。

### 仏式供養の流れ

さて、お位牌やお仏壇の事について触れる前にお葬式から始まる仏式供養の意味を押さえておきたいと思えます。

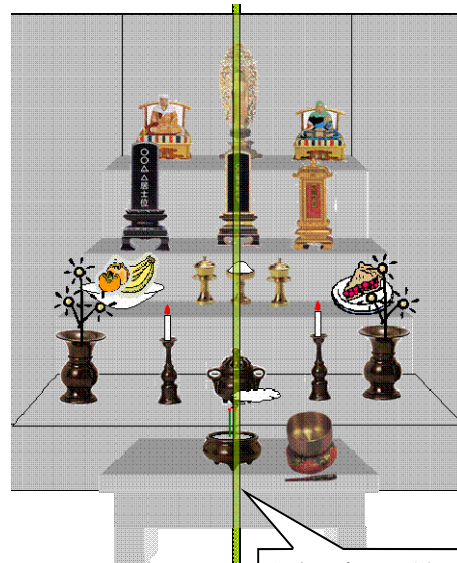
仏式葬の場合、不幸にして人が亡くなると故人に法名（戒名・出家者としての名前）をつけ、お通夜や葬儀の次第の中で剃刀を用いて剃髪式（頭髪を剃る作法）、得度式（仏門に帰依し出家者となる式）を行い、故人を形式的に僧侶として出家させます。それは仏教修行者の方が仏の救済に預かり易いと考えからです。ですから、人が亡くなった時には慌てて法名をつけ、出家の儀式を行い、お通夜・葬儀を通して仏教の教えであるをお経を唱えて、故人に聞かせ、出家者として猛特訓をした後、極楽浄土へと送り出します。そして、送り出された故人は極楽浄土では阿弥陀仏の膝元で仏教修行者として仏様の説法を聞き、仏教の勉強を行い悟りを深めている。と仏教では考えます。

速夜や法事などの追善供養は、親族や僧侶がこの世からお経を読んで、極楽浄土で頑張っている仏教の勉強をされているご先祖を応援し、ご先祖のために特別講習を行うという意味合いになります。

### 仏壇は浄土世界の象徴

この仏教的な仏とご先祖の関係を表しているのが身近にあるお仏壇です。極楽浄土そのままにきらびやかな装飾が施された仏壇も有りますし、落ち着いた雰囲気のお仏壇も有ります。大概のお仏壇の内部は3段以上になっています。仏壇をご先祖が居られる極楽浄土の世界と考えるならば、お仏壇の最上段に来るのはご先祖様ではなく、ご先祖様の先生である仏様（仏像や軸）を最上段にお祀りすべきと思えます。

そして2段目には仏様の生徒であるご先祖、つまりお位牌が並びます。3段目には仏様やご先祖へのお供え物であるお仏飯やお茶湯が並び、その下又は仏壇の前には灯明・香・華などを並べます。



左右対象を心掛ける

### 位牌が多く なってしまう…

しかし一族の歴史と共に位牌の数は次第と多くなり、仏壇内が窮屈になって、つい仏壇（極楽浄土）の中心である仏様に横の方へ行って貰って、最上段までご先祖の位牌を並べなければ収まりが付かなくなってしまいます。

ご先祖様が大切なのは当たり前ですが、ご先祖の先生（師匠）で有る仏様を仏壇の片隅に追い遣るのも格好悪い話です。とはいえ仏壇という制約された空間の中で増えてしまったご先祖様の位牌の配置には苦慮されると思えます。

そこで提案なのですが、33回忌（又は50回忌）過ぎた古いご先祖のお位牌は別個にお祀りするのではなく、「過去帳形式の位牌」や「歴代列記の位牌」に合祀されたら、お仏壇の中もすっきりするのではないかと思います。（最初から上記の形式でお祀りされているお宅も多いです）



歴代列記形



過去帳形式

(2 ページに続く)

